

2017年
新春号
Vol.19

幸義会だより

岡山東部脳神経外科



年頭にあたり

岡山東部脳神経外科病院副院長 宮崎 修平



新年あけましておめでとうございます。
本年も宜しくお願い申し上げます。

当院は一昨年12月より診療所から病院へ変わりようやく一年過ぎました。

当初はなれない部分もあり、皆様にもご迷惑をおかけしたこともあったかと思いますが、一年経ちようやく落ち着いてきたように思います。これも皆様のおかげと感謝しております。

さて、当院では脳梗塞・脳出血等の脳卒中や認知症等の疾患のため日常生活に困難を伴う方がおられます。そのような場合、何らかの介助が必要となりますが、ご家族や周囲の人だけではそれも困難となり、やむなく自宅での療養を、断念せざるを得ないことが多々あるかと思ひます。

またこれから先の高齢化社会に伴い介護される人数の増加と介護する人数の減少が問題となり、ますますご本人の望む形での介護が困難となることが考えられていました。

平成2年より「高齢者保健福祉推進十か年戦略（ゴールドプラン）」による「寝たきり老人ゼロ作戦」での本人の生活の質を損なわないように、適切な訓練と介護を行うことにより、寝たきりを予防する試みが進められておりました。

また認知症に対しては、平成27年より「認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）」が国の戦略として立ち上がっており、現在国を挙げた「良い環境で自分らしく暮らし続けることができる社会の実現」を目指しております。

しかしこれらの試みは、なかなか患者さん達には十分には伝わっておらず、十分な支援など受けられない状態で苦勞されている方も多いと思ひます。

現在国は少子高齢化対策の一つとして、また住み慣れた環境での安心した自分らしい生活を送るため、在宅医療の推進を図っております。

そのためのサービスの拡充を行なっており、訪問診療・訪問看護・訪問リハビリテーションなどがあります。以前からあるサービスですが、どんなサービスが受けられるのかは、なかなか浸透していません。

例えば、訪問看護では血圧や状態の管理のほか主治医の指示のもと点滴加療を行ったり採血などを行うことが可能です。

これにより来院することなく、ある程度の治療を自宅で受けることが可能となります。

また訪問リハビリテーションにより在宅でのリハビリテーションも可能です。

これらに加え、ご家族の負担軽減を図るためにも、通所リハビリテーション・デイサービスやショートステイ、ヘルパー派遣などを含めて行うことで、最後まで安心して御自宅で御家族と一緒に過ごせるよう住まい、医療、介護、予防、生活支援が連携したシステムを目指しています。

病後の後や老後について、みなさん色々不安な点があると思いますが、当院でも介護保険や介護サービスについてのご相談をお受けしております。

ご自身の受けられるサービスや、ご希望などありましたらお気軽にご相談頂ければと思います。

防災訓練

岡山東部脳神経外科病院では、昨年9月2日に防火訓練を行いました。

この訓練は年2回の実施が義務づけられており、今回は夜間に火災が発生したと想定して、消火・通報・避難訓練を実施しました。参加した新入職員から「毎日働いている場所なのに、防火設備がこんなにあったとは気付かなかった。」「消火機器や排煙窓の使い方を初めて知った。」などの感想が寄せられました。

今回の訓練を通じて、職員の防火・防災に対する意識をさらに高めていきたいと思います。

今回の訓練を通じて、職員の防火・防災に対する意識をさらに高めていきたいと思います。



東備クリニック

新年あけましておめでとうございます。
本年もよろしくお願いいたします。

最近、患者様から次のような質問をされることが多くなりました。
「わしはいつからここにかかったかあ？」と
「平成〇〇年ですよ」とお話しすると、もう10年以上になるか...
ここで診てもらったから長生きできると」と話されました。ありがたい言葉です。
病棟が岡山へ統合され、スタッフが少なくなり、淋しい思いはありますが、クリニックの顔でもある受付、看護師、クラーク、検査スタッフ、それぞれ、来院された患者様が満足して帰っていただけるよう配慮し、勤めていきたいと思っております。
今年も体調に気を付けながら笑顔忘れず頑張っていきます。
東備クリニック職員一同

CT装置更新

当院ではこのたびコンピュータ断層装置（CT装置）の更新を行い、SIE MENS社の16列マルチスライスCT装置「SOMATOM S cope」を導入しました。

今までのCT装置と比べて検査時間がより短縮され、3D画像や任意断層像（MPR）等の再構成画像によって詳細な病変の把握が可能になりました。

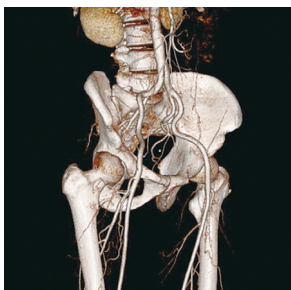
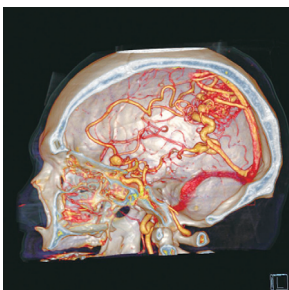
またX線を自動で最適化することで撮影時の被曝線量が大幅に低減されます。

大きなメリットとして、撮影時間が十数秒で終わる・撮影した画像が鮮明でわかりやすいため、病変を発見しやすい、の2つが挙げられます。

撮影時間が短いと、呼吸を止める時間が10秒ほどとなり、患者様の苦痛が短縮されます。ご年配や、じつとしてるのが難しいお子様の撮影に効果的です。また、撮影時間



が短い分被曝線量も減少し、患者様への負担が少なくなります。鮮明な画像により小さな病変でも発見しやすくなるため、これまで以上に正しい治療法が選択できるようになります。



感染勉強会

リハビリテーション科

作業療法士 伴 美恵子

これから本格的な寒さを迎え、インフルエンザなどの感染予防には一層気を付けたいといけない季節となりました。当院においても、職員向けに「感染」についての勉強会が行われ、感染の脅威・感染対策の重要性・手洗い方法の確認などを教えていただきました。講演の中で、手指衛生のための5つのタイミングがあり、未然に防ぐことが大切だと学びました。私自身は作業療法士（リハビリを行う人）で、直接患者様の手足を触ることが多いです。私自身が感染源とならないよう訓練ごとに手洗いを徹底していきたいと改めて思いました。これからの季節、皆様も外出後など手洗いを行って感染には十分にお気をつけください。

研修医



研修医 小島 英哲

10月に地域医療研修のためお世話になりました。

私は慶應義塾大学卒業後、卒後臨床研修の2年間を神奈川県横浜市の、けいゆう病院で行っております。

私は生まれも育ちもずっと東京です。そのためか、「こういう所は初めてでしようから、随分違うでしょう?」と言われる事が度々ありました。しかし、両親は岐阜出身ですので、地域研修中に見た田園風景や、駅から離れた家並みなどの景色には、むしろ親近感を感じております。研修中に触れた岡山の方々もみな優しく朗らかで、岡山に来てから東京はやっぱり心が荒るなあとしみじみ感じました。

さて、私が普段勤めるけいゆう病院は内科系に強い病院として知られております。というより外科系は消化器・呼吸器・血管・整形しか対応していません。そのため初期研修を終えた臨床研修医は内科系を専攻科にする事がやはり多いの

ですが、私の同期はほぼ全員が内科以外を選択するという異質な学年となりました。

私も例外ではなく、当初は内科志望で1年半に渡って内科や救急診療を必死で勉強したのですが、やはり内科的加療の限界を迎えた患者さんにおいて最後の砦となる外科の格好よさに惹かれ最終的には消化器外科を選択いたしました。

「格好良い」というと随分と稚拙な動機になりますが、オリンピック選手に憧れる子供の様な、そういう純粋な気持ち程強く影響を与えるのかもしれない。専攻科は基本的には研修医2年目の夏に決める事が多いため、結果的に外科を選択した事を考えると、もともと早くに地域研修で脳外科に出会っていたなら志望が変わっていたかもしれないと思うと少し残念です。

最後になりますが、岡山東部脳神経外科病院では、脳外科領域の手術や術後管理、また地域隔々まで支える地域連携などについて学ばせていただく機会を経験させて頂きました。オンだけでなくオフも共に充実した1カ月を過ごさせて頂き本当にありがとうございました。この経験を生かして今後も精進してまいります。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

研修医 坂野 沙里



研修医 坂野 沙里

初めまして、坂野沙里と申します。初期臨床研修医と

して平成28年11月に1ヶ月の間、岡山東部脳神経外科病院にて研修をさせていただきました。私は平成28年に東京の慶應義塾大学医学部を卒業し、神奈川県横浜市のけいゆう病院にて研修医をさせていただきました。います。東京生まれ東京育ちの私ですが、旅行は好きな方です。今回このような機会でも岡山県に來られることをとても楽しみにしていました。また、学生の頃の臨床実習でも自分が好きだった科が脳神経外科だったこともあり、今回の研修で今度は研修医として脳神経外科の症例を経験できることも楽しみにしていました。けいゆう病院には脳神経外科がないため、脳血管疾患の

薬物治療は経験することもありましたが、やはり緊急での手術が必要となる症例はみることもできませんでした。今回の研修を通して、薬物治療に關しても多くの症例を経験し、リハビリの様子を間近でみることもできたり実際に体験したりすることで、より患者様と近い距離での医療を経験することができました。手術に關しても、血管内治療、開頭手術など様々な症例をみさせていただき、その都度指導の先生をはじめとして上級医の先生方に教わることも多く大変勉強になりました。最後になりましたが、研修医としても数ヶ月の経験のみでかつ妊婦という身体での受け入れをしていただき、未熟な点も多々あるなかで病院スタッフの皆さまに大変親切にしていたいただいたことを心より感謝しております。岡山にまた遊びに來たいと思います。

育休明け

医事課 菊政 知佳



昨年9月26日より職場に帰ってきました。病院への移行など大変忙しい時期に長期間のお休みを頂けて感謝しております。

息子に「お母さん頑張ってるよー」と胸を張って言えるよう公私共に頑張りたいと思いますので宜しくお願いいたします。

医事課 大塚 真知



昨年11月に第2子を出産し、今年10月より復帰致しました。3歳差で上の子にもまだまだ手がかりありますが、周囲の支えで慌ただしくも楽しい日々を過ごしております。何かとご迷惑をおかけしますが、よろしくお願い致します。

デイサービスセンター「歩夢」

詐欺被害に「だまされ米（まい）」

昨年11月21日、デイサービス歩夢に岡山県警の警察官と学生ボランティアが來られ、利用者様一人一人に「特殊詐欺にだまされ米（まい）」と銘打った米を手渡し、詐欺防止を呼びかけていただきました。

この米は小学生と高校生が田植えから育てた米です。米を入れてある袋にはそれぞれに小学生が描いた可愛い絵があり、その絵を見ているだけで利用者様の笑みがこぼれていました。

特殊詐欺の防止ための呼びかけは行っていますが、増加傾向にあるそうです。皆様も、電話でお金の話が出たら、「その話はウソ!」まずは警察へ相談してください。



けしませんが、今後ともよろしくお願い致します。

病棟クラーク 齋藤 美貴



昨年9月26日に職場復帰させていただきました。初めての電子カルテ、育児との両

立で戸惑いもありましたが、先輩ママ、周りのスタッフの方に助けて頂き、とても感謝しています。

はじめは子供と離れる時間が多く、さみしい思いでしたが、最近では息子も託児所に慣れ、色々と吸収し日々の成長が楽しみです。

私も息子と共に成長できるよう頑張りますのでよろしくお願い致します。

新入職員紹介

病棟看護師 高見 康葉



入職して3ヶ月になります。脳神経外科は初めてで、毎日学ぶこともたくさんあります。

んあり、嬉しく思っています。これからもご指導よろしく願います。

利用者様作品紹介

毎月、短歌を詠んでくださる利用者様がおられます。

目を閉じるとその風景を感じるのばかり。

楽しい解説と一緒に職員一同楽しみにしています。

コーヒの香を溶く朝の幸は歩夢に遊ぶ日 笑顔はじけて



デイサービスセンター歩夢 作品

永年勤続表彰式・職員親睦会

昨年の12月に岡山東部脳神経外科病院と成り、早1年が経ちました。電子カルテに四苦八苦し、毎日の業務も同時に進行していくという激動の日々も少しは落ち着いてきた?先月末に親睦会が行われました。

医療法人幸義会として総勢76名が出席し、普段中々話す機会のない職員や、部署が離れて久々に話が出来た職員同士の会話も弾む中、続々と運ばれてくるおいしい料理やお酒の力も重なり「今日は無礼講!!」と言わんばかりの盛り上がりでした。

また、当日は新入職員の紹介と永年勤続表彰を兼ねており、今年の新入職員は11名で各々の紹介と初々しいコメントを頂きました。永年勤続表



永年勤続表彰者

15年

10年

清本 典子 齋藤 美貴
山澤 里実 守安 優子
端戸 明子 島山 彰子
山口加奈代
横田久美子
時末 洋代
柏 久美



6時間リレーマラソン岡山大会

10月2日岡山県総合グラウンドで行われた6時間リレーマラソンに岡山東部脳神経外科から2チーム参加しました。

6月から仕事終了後に月1回のペースで自主練習会を行い、運動の得意、不得意に關係なく、みんなで楽しく完走を目指して頑張りました。

順位はまずまずでしたが、協力し合い6時間たすきを繋ぎ完走できたことの喜びと達成感をあじわうことができました。

さらに一番楽しみにしていた打上げの宴は大いに盛り上がり、所属部署や年齢にかかわらず職員同士の親睦を深める事ができました。このチームワークを今後



は職場でも活かしていこうと思います。